

[平成20年3月24日 (月)]

“只今「**春期募金活動期間**」中”

美しい森林づくりニュース 〈NO. 69〉

～ 伝えたい木の文化、残したい美しい森 ～

発信元：林野庁 研究・保全課 森林環境保全班 企画調整係 山口
Tel：03-3502-8111（内線6216）03-3501-3845（直通）Fax：03-3502-2887

ご意見、ご質問は → https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=82
バックナンバーは → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/news.html>

◎ 緑豊かな環境づくりを進めるために！

－ 「美しい森林づくり」推進講演会の開催（新潟県） －

3月11日（火）、新潟市内において、新潟県主催による「美しい森林づくり」推進講演会が開催されました。

環境緑化や森林に対する県民の期待の高まりや、温暖化防止森林吸収源対策を推進する上で森林整備の推進が急務となっていること、県産材を利用した家づくりの気運が高まっていることなどを背景として、県でも「美しい森林づくり推進国民運動」に官民一体となって取り組み、緑豊かな環境づくりを進めることを目的に開かれました。

（講演会の概要）

会合には、新潟県内の市町村担当者、森林組合、林業関係団体等約80名が集まり、冒頭、主催者を代表し、深海治山課長から開催趣旨と県内での森林づくりの取組について挨拶がありました。

続いて講演に入り、まず、飛山林野庁森林保全推進室長から、美しい森林づくり推進国民運動の経緯、京都議定書の森林吸収目標の達成に向けた間伐等の推進、今国会に提出中の間伐等促進法、美しい森林づくり基盤整備交付金等について説明しました。



美しい森林づくりについて説明する飛山森林保全推進室長

続いて、森づくりに取り組む民間団体を代表して、「にいがた『緑』の百年物語県民運動」地域推進員でもあるNPO法人「縄文の杜をつくる会」の鈴木重壺会長から、中越大震災被災地をフィールドとした活動の紹介及び県民参加の森づくりへの提言等を行っていただきました。

参加者からは、身近な森林の整備が山村地域の活性化につながることや、先人の築いた緑を次代につなぐことは我々の務めであるなどの発言がありました。今回の講演会をきっかけとし、新潟県内の森林整備の一層の推進が期待されます。

◎「木質バイオマス」により九州の農山村を活性化！

－「木質バイオマスフォーラムinやつしろ」の開催－

3月10日(月)、熊本県八代市内において、九州バイオマス発見活用協議会、農業施設学会、JETRO熊本の主催により、「木質バイオマスフォーラムinやつしろ」が、一般市民をはじめ林業関係の事業者や自治体等から約400名の参加を得て開催されました。

フォーラムでは、三菱商事株式会社の高木陽一氏から大分県日田市と宮崎県門川町でのペレット生産について報告があり、続いて、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの榎崎達也氏よりカナダのバイオオイルなど木質バイオマス事情についての紹介があり、日本国内の先進事例や木質バイオマスエネルギー利用の課題と展望について講演がありました。

林野庁から石原技術開発推進室長が出席し、木質バイオマスの利用状況や国の利用推進に向けた施策を紹介、美しい森林づくり推進国民運動への参画を呼びかけました。

引き続き開かれた意見交換会では、近年の石油価格の高騰を背景に、トマトやスイカ、メロンなど施設園芸の暖房での木質ペレットの利用の可能性が話題となり、輸送方法や価格、ハウス暖房設備のイニシャルコストについて質問が出されるなど、活発なやりとりがありました。



木質バイオマスの課題等について意見交換する講演者

※ 「美しい森林づくりニュース」のメールマガジンの配信を始めています。

登録はこちらから → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/mail.html>